

## 新年のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナに明け暮れ、3年間も私たちを悩ませ続けている新型コロナウイルス感染症が、今年こそ収束に向かうことを願わずにはおられません。

こうした状況にあっても忘れてならないのは、日本中で年末年始でも医療や福祉・介護・救急などの最前線でコロナ感染症と戦っていただいている皆様です。心から感謝を申し上げたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますとコロナ感染症の影響に加えてロシアのウクライナ侵攻など武力で自国の利益を実現しようとする勢力の台頭があり、そうした世界情勢の不安定要素を背景に電気・ガソリンなどの燃料費の高騰、食料や生活必需品の物価高など私たちの生活を直撃する経済状況は近年にない厳しい状況となっており、村では国の地方創生臨時交付金を活用して生活支援・地域の農林商工業を支援する取り組みを継続し、切れ目の無い支援として実施してまいりました。

また、秋フェスタや郷土歌舞伎公演などのイベントも、3年連続の中止は避けたいという危機感をもって、感染防止に細心の注意を払いながら規模を縮小して開催することができました。関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。こうして色々な行事やイベントが復活できたことは、コロナと共生しながらの開催に一定の道標を残すことができたと思っております。

さて、令和5年はどのような年になるのでしょうか。村では一昨年からは、第六次総合計画を樹立するべく、アンケートや村長と語る会などを実施してまいりました。年始早々には計画案を完成し、パブリックコメントの募集や議会での審議をいただく予定にしています。また、令和5年度予算案も策定中ですので、その骨子を紹介することで新しい年の村政の方向性について紹介してまいります。

第六次総合計画案に掲げている村づくりの将来に向けた指針については

### ①「人口の安定をはかるための施策の実施」

- ・つながるナビ事業を継続し、移住定住政策を中心に据えて、全ての施策のベクトルを人口減少対策に繋げてまいります。

### ②「人口規模に見合った社会インフラ整備」

- ・人口 3,000 人時代に作られた公共施設などの長寿命化を図るとともに、機能転換など身の丈にあった公共施設の再整備に努めてまいります。

③「望まれる子育て環境の整備」

- ・この村で子育てがしたいと言っただけできるよう、子育て世代のニーズを満たす環境を整えてまいります

④「人生 100 年時代に向けた対応」

- ・人生 100 年といわれる超高齢化社会を迎えようとしています。村民の皆さんが元気で生涯現役で活躍いただけるよう、健康寿命の延伸のための施策に取り組んでまいります。

⑤「自然を守り、地域資源の活用」

- ・総合計画のアンケートや村長と語る会でのご意見、未来を担う青少年や子ども達も東白川村の自然を残して欲しいという考えに異論を唱える人は無いと思います。東白川村の山や田畑・清流白川がもたらす四季折々の自然環境などを守りながら、そこで営々と農林商工業の営みが続けていけるよう各施策を進めてまいります。また、エネルギー危機が心配されている世界情勢の中で、豊かな森林資源の活用や再生可能なエネルギーの活用など、エネルギーの地産地消施策を研究してまいります。

以上の 5 つの項目を掲げ、将来に向けて東白川村をより良い形で伝え、残していくことに取り組みます。

一方、令和 5 年度の予算では、厳しい財政状況ではありますが財政規律を維持しながら徹底的に事務事業の見直しを行い、新型コロナウイルス感染症対策として新しい生活様式の定着化や、村民生活の安心・安全の向上に向けた対策の実施など喫緊に取り組む必要がある事業については優先的に進めるとともに、第六次総合計画スタートの年にふさわしく、21 項目の様々な課題に果敢に挑戦する予算案を編成中であります。民間と行政の活力を結集し、ここに生活する人々が未来に希望を持ち続けることができる東白川村を目指して、まい進してまいる所存であります。

以上、令和 5 年・卯年の新年にあたり所信の一端を述べ、新年のごあいさつといたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和 5 年 1 月 1 日

東白川村長 今井俊郎